



国労せんだい

No. 2601
2011年4月11日
発行責任者 橋本 昭二
編集責任者 武田 昌仙

2・19	第122回地方委員会
2・26	第33回アスベスト対策会議
3・4	国労東北総決起集会
3・5	国労仙台総行動
3・11	第6回執行委員会

お詫び
震災の影響で
時間が経過し
た記事も混在
しております。
ご了承下さい。

国労せんだい

通常版
再開へ

東日本大震災から一か月

3月11日、午後2時46分頃、太平洋三陸沖を震源として発生した大地震は、東北地方太平洋側沿岸地域を中心に、甚大な被害を及ぼした。

地方本部は3月21日に業務を再開したものの、物流が殆ど機能を果たさず、国労せんだいも「ファックス版」に切替を余儀なくされた。現在、交通・物流については一部不通の地域もあるが、ほぼ回復傾向のため、今号から通常版（郵送）を再開する。なお、当面はファックス版と併用発行とする予定だ。

震災から一か月。幸いにも仙台北地方本部内の組合員に大きな被害はなかった。

た未だに行方が分からない方も存在するなど、現在も我々に深い傷跡を残したまままだ。
7日深夜には震度6強の余震が観測され、連日のように大小の余震が発生し、地震の余波は続いている。肉親を失い、言葉では表しようのない深い悲しみと苦しみの淵にいる多くの被災者や組合員に対し、かけ

投稿

わたしの声

福島原発事故

福島県では震災被害の他に、原子力発電所の被害が甚大になっている。福島の「浜通り」地域では、地震・津波・そして原発被害だ。

国と電力会社は、「原発は安全だ」と言い放ち施策を推し進め、同時に莫大な補助金を地元へと落として続けた。

農業中心の地域に、原発を取り巻く「雇用」を生み出し、多くの箱物を造り出した。補助金が少なくなると更に原発の誘致を行い、現在では6号機まで設置されている。

雇用確保の場として、また市町村の財政確保など切実な思いもある。加えて、3月11日以前にも「事故

平常な生活に戻せ

隠し」「連絡の遅れ」など、地域住民に真実が明らかにされなかった部分も数多くあったが、それでも原発に依存しなければならなかった現実があった。

そして今回の事故である。ある報道で、「福島原発で作った電気を首都圏に送っているのです。私たちの支援をお願いします」と少女が訴えていたが、弱い立場の地域に補助金を見せて誘致し、結局地元が取り返しのつかない甚大な被害を受けている。

原爆で放射能の恐ろしさを一番知っている日本が、安易に原発を造り、本場の恐ろしさを隠し続けてきた結果ではないだろうか。
私の住居は原発から約40キロの位置にあり、避難範囲に入っていないが、外出時は「マスク・帽子・

（投稿者 山田芳夫 国労宮城県支部書記長）

地方委員会概況

地方本部は2月20日、こくろう会館において、第122回定期地方委員会を開催した。

委員会では出席した委員の真摯な討論の結果、議案は全て承認され、当面する諸課題と11春闘勝利に向けた取り組みの意思統一が図られた。

委員会の議長には昆野委員長（仙台北連合）を選出し、地本橋本委員長は、不採用問題▼安全・安定輸送の確立▼組織拡大▼11春闘▼統一地方選挙など、地方本部の抱える諸課題とその克服に向けて地本全組合員が一丸となって闘うことを呼びかけた。

貨物交渉妥結

12年連続ベアゼロ

本部は4月4日、貨物会社との賃金交渉について妥結をした。

国労は、3月31日の、貨物会社の回答（12年連続ベアゼロ回答、定期昇給の実施、55歳以上社員に55歳以上賃金の引き上げ）に対し、東日本大震災の被害の現状や日本経済、国民生活に対する影響を鑑み重く受け止めつつも、厳しい現状だからこそ、企業の内部留保で賃金を引き上げ、内需拡大による経済の再生が強く求められている。

来賓（敬称略）

- ☆社会民主党 田山 英次
- ☆日本共産党 横田 有史
- ☆宮城県平和労組会議 佐々木俊彦
- ☆全交通共済生協 佐藤 勝雄
- ☆国労議員団 石川 建治
- ☆国労東日本本部 佐藤 正幸

承認されたのち、委員会宣言が提案、承認され全員の議事が終了。
昆野議長が退任、中島副委員長が閉会の挨拶をし、橋本委員長の団結頑張ろうで終了した。

音威子府 雇用の実現で最終解決を！

2月20日、音威子府闘争団（金児順一団長）主催による、「雇用の実現！二度と路頭に迷わない最終解決を求める『政治和解』報告集会」と、「ありがたいの気持ち」をこめて『政治和解』の完結をめざす感謝の集い――二部構成――が音威子府公民館において開催された。集会には、当初から一貫して支援協力関係にあった山形県支部と共闘を始めとして、国労本部や国鉄闘争に勝利する共闘会議など道内や全国から120名の参加者が駆け付け、雇用実現で最終解決を図る決意を確認し合った。

雅宏氏（04年7月、享年49才）と田中敬幸氏（07年1月、享年48才）の2人が、志半ばで他界した。国鉄闘争の生き証人でもある我々は、彼らのためにも、もう一踏ん張りする。

◆シビアに現政権を見たとき「何があってもおかしくない政局」と映るのでは。我々に許された時間は限られており、残された可能性は「ワン・チャンス」、2月末から3月上旬が最も重要な局面になる。

◆シビアに現政権を見たとき「何があってもおかしくない政局」と映るのでは。我々に許された時間は限られており、残された可能性は「ワン・チャンス」、2月末から3月上旬が最も重要な局面になる。

◆シビアに現政権を見たとき「何があってもおかしくない政局」と映るのでは。我々に許された時間は限られており、残された可能性は「ワン・チャンス」、2月末から3月上旬が最も重要な局面になる。

◆シビアに現政権を見たとき「何があってもおかしくない政局」と映るのでは。我々に許された時間は限られており、残された可能性は「ワン・チャンス」、2月末から3月上旬が最も重要な局面になる。

山形県からは、県平和センター・北畠教行事務局長（県教職員組合書記長）、国鉄闘争支援置賜地区共闘会議佐藤清三議長、自治労山形県本部渡辺正一副委員長、国労山形県支部原田執行委員長の4名が集会に参加。

◆現状は、昨年4月12日政府との基本合意、6月28日には、最高裁で和解調書調印、政治解決に。我々当該が決断したのは、「雇用、年金、解決金」は、あくまで「1セット」という要求を、ギリギリのところだが、押し込むことが出来たから。

◆政治的解決のシビアな現実も議論。雇用問題も「辿り着いたところが一番」という決意で全力を尽くす他は無い。

◆政治的解決のシビアな現実も議論。雇用問題も「辿り着いたところが一番」という決意で全力を尽くす他は無い。

◆政治的解決のシビアな現実も議論。雇用問題も「辿り着いたところが一番」という決意で全力を尽くす他は無い。

◆政治的解決のシビアな現実も議論。雇用問題も「辿り着いたところが一番」という決意で全力を尽くす他は無い。

報告集会の冒頭、金児団長は、長年の支援と協力に對し感謝の辞を述べた後、以下の挨拶を行った。

◆最も残念な出来事は、仲間を亡くしたことです。国労闘争団総体では60名（11年1月末現在）の仲間が闘いの中、命を落とした。音威子府闘争団では石原

◆最も残念な出来事は、仲間を亡くしたことです。国労闘争団総体では60名（11年1月末現在）の仲間が闘いの中、命を落とした。音威子府闘争団では石原

◆最も残念な出来事は、仲間を亡くしたことです。国労闘争団総体では60名（11年1月末現在）の仲間が闘いの中、命を落とした。音威子府闘争団では石原

◆最も残念な出来事は、仲間を亡くしたことです。国労闘争団総体では60名（11年1月末現在）の仲間が闘いの中、命を落とした。音威子府闘争団では石原

◆最も残念な出来事は、仲間を亡くしたことです。国労闘争団総体では60名（11年1月末現在）の仲間が闘いの中、命を落とした。音威子府闘争団では石原

◆四半世紀にわたる長い闘いとなったが、これ程長期の闘いになるとは、誰一人夢にも思っていなかった。差別・選別のあぐくに解雇、理不尽な扱われ方に対する怒りを持ちながらも、厳しい闘争生活の中で、その日一日を精一杯闘い生き抜く、そんな積み重ねが24年になった。皆さんの支援と協力が支えとなり、元氣と勇気をもらい闘い続けることができた。

◆四半世紀にわたる長い闘いとなったが、これ程長期の闘いになるとは、誰一人夢にも思っていなかった。差別・選別のあぐくに解雇、理不尽な扱われ方に対する怒りを持ちながらも、厳しい闘争生活の中で、その日一日を精一杯闘い生き抜く、そんな積み重ねが24年になった。皆さんの支援と協力が支えとなり、元氣と勇気をもらい闘い続けることができた。

◆四半世紀にわたる長い闘いとなったが、これ程長期の闘いになるとは、誰一人夢にも思っていなかった。差別・選別のあぐくに解雇、理不尽な扱われ方に対する怒りを持ちながらも、厳しい闘争生活の中で、その日一日を精一杯闘い生き抜く、そんな積み重ねが24年になった。皆さんの支援と協力が支えとなり、元氣と勇気をもらい闘い続けることができた。

◆四半世紀にわたる長い闘いとなったが、これ程長期の闘いになるとは、誰一人夢にも思っていなかった。差別・選別のあぐくに解雇、理不尽な扱われ方に対する怒りを持ちながらも、厳しい闘争生活の中で、その日一日を精一杯闘い生き抜く、そんな積み重ねが24年になった。皆さんの支援と協力が支えとなり、元氣と勇気をもらい闘い続けることができた。

◆四半世紀にわたる長い闘いとなったが、これ程長期の闘いになるとは、誰一人夢にも思っていなかった。差別・選別のあぐくに解雇、理不尽な扱われ方に対する怒りを持ちながらも、厳しい闘争生活の中で、その日一日を精一杯闘い生き抜く、そんな積み重ねが24年になった。皆さんの支援と協力が支えとなり、元氣と勇気をもらい闘い続けることができた。

◆四半世紀にわたる長い闘いとなったが、これ程長期の闘いになるとは、誰一人夢にも思っていなかった。差別・選別のあぐくに解雇、理不尽な扱われ方に対する怒りを持ちながらも、厳しい闘争生活の中で、その日一日を精一杯闘い生き抜く、そんな積み重ねが24年になった。皆さんの支援と協力が支えとなり、元氣と勇気をもらい闘い続けることができた。

◆労働争議一般では「闘争の長期化は、闘争への集中

◆労働争議一般では「闘争の長期化は、闘争への集中

◆労働争議一般では「闘争の長期化は、闘争への集中

◆労働争議一般では「闘争の長期化は、闘争への集中

◆労働争議一般では「闘争の長期化は、闘争への集中

◆労働争議一般では「闘争の長期化は、闘争への集中



挨拶を述べる音威子府闘争団金児団長

震災に伴う原発事故の対応について申し入れ

4月4日、国労東日本本部は、震災以降、寄せられた多くの意見や問題について、早急に解決しなければならぬ課題であると認識し、以下の申し入れを実施した。（国労東日本第20号 要旨）

▼福島県、茨城県的主要駅と現業機関については、日々の放射線量を詳細に測定し、お客さまの安全と社員の健康管理に万全の体制をとること。

▼工事箇所等における放射線量の測定を随時行い作業員の安全を確保すること。

▼計画停電については、朝・夕の通勤・通学時間帯の列車運行を最大限確保すること。

JR東が実施期日延期を提示

JR東日本は3月30日、「人事・賃金制度の見直し」の実施時期延期について、東日本本部に対して説明を行った。それによれば、実施時期を平成23年4月1日として提案したが、「東北地方太平洋沖地震」が発生し、交渉を進めることができない状況であり、実施期日を延期するとし、新たな実施時期については、別途

◆最も残念な出来事は、仲間を亡くしたことです。国労闘争団総体では60名（11年1月末現在）の仲間が闘いの中、命を落とした。音威子府闘争団では石原

◆最も残念な出来事は、仲間を亡くしたことです。国労闘争団総体では60名（11年1月末現在）の仲間が闘いの中、命を落とした。音威子府闘争団では石原

菅野勉さん逝く

岩沼連合分会に所属していた菅野勉さんが3月17日、永眠した。死因は癌。享年61歳。

菅野さんは分割・民営化時期、福島駅連合分会に所属し、組織混乱期から常に職し、闘争生活をしてきた。